

中部知多衛生組合の財政状況

ここにお知らせする財政状況は、組合の収入及び支出状況、財産、組合債の状況等を皆さんに正しく理解していただくために毎年5月と11月に公表しているものです。

今回は、平成28年度決算状況と平成29年度予算の上半期（4月～9月）の執行状況についてお知らせします。

平成28年度決算

施設は、昭和61年稼働以来31年目を迎え、耐用年数を超過する設備・機器等が多く、施設全体の老朽化が進行するとともに、汲取り便槽の水洗化等による浄化槽の普及により、し尿等の搬入性状が当初設計負荷と比較して希薄化しているため、施設運営の効率化が困難な状況となっています。こうした中、継続的かつ、安定した処理機能の確保、循環型社会に資する処理システムへの転換を目指し、前年度実施しました「し尿処理施設整備方針検討業務」の検討結果を基に、下水道放流方式へ改修整備するための検討を進めてまいりました。

また、施設の維持管理等におきましては、前年度末で退職した処理担当職員2名の欠員補充とともに、施設の老朽化に伴い維持補修費等が年々増加する中、いかに合理的に施設を運転し、経費削減を図るかについて課題となっていました。これらの対策として、今年度より従来の運転管理業務のみの委託からユーティリティー管理及び補修工事等を含めた包括的な委託に変更したことにより、組合の技術職員不足にはプラントメーカーからの技術者、有資格者の継続配置により対応し、かつ機器設備においては計画的な工事・修理等を行いつつ突発的な故障にも柔軟的に対応することができ、順調な運転を続けることができました。

決算状況をみますと、歳出は3億1,600万5,335円で、前年度に比べ2,482万円余の増額となりました。これは、総務費において、組合職員1名の退職手当及び派遣職員1名が再任用短時間職員から一般技術職員に変更されたことにより、人件費が増となったことが主な要因であります。

生し尿等の収集量は、公共下水道の面整備の進捗、接続人口の増加によって、引き続き減少していくものと推測しますが、今後も施設の効果的な運営及び維持管理を図るとともに、下水道放流方式への改修整備に向け進めてまいります。

▼ 歳入歳出額の比較

(単位：千円)

区 分	27 年度	28 年度
歳 入	308,586	327,402
歳 出	291,183	316,005
歳入歳出差引額	17,403	11,397

目的別

(単位：千円：%)

区 分		予算額	決算額	構成比
歳 入	分 担 金 及 び 負 担 金	305,202	305,202	93.2
	繰 越 金	17,403	17,403	5.3
	諸 収 入	4,817	4,797	1.5
	計	327,422	327,402	100.0
歳 出	議 会 費	1,385	1,322	0.4
	衛 生 費	321,036	314,683	99.6
	公 予 備 費	1	0	—
	予 備 費	5,000	0	—
	計	327,422	316,005	100.0

性質別

(単位：千円：%)

区 分	金 額	構 成 比
人 件 費	53,287	16.9
物 件 費	262,330	83.0
補 助 費	388	0.1
計	316,005	100.0

組合債の現況

借 入 先	現 在 高
な し	な し

組合財産の状況

建 物	土 地
17,358.00 m ²	4,815.52 m ²

29 年度上半期予算執行状況表

組合管内の状況

人 口 221,119 人
世 帯 91,886 世帯

平成 29 年度とは、平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までをいいます。ここに掲げました数値は 9 月 30 日現在のものです。

(単位：円：%)

区 分		予 算 額	予算執行済額	執 行 率
歳 入	分担金及び負担金	295,486,000	147,744,000	50.00
	繰越金	1,000	11,395,873	—
	諸収入	4,834,000	1,947,677	40.29
	計	300,321,000	161,088,550	53.64
歳 出	議会費	1,382,000	172,852	12.51
	衛生費	293,938,000	113,329,243	38.56
	公債費	1,000	0	0.00
	予備費	5,000,000	0	0.00
	計	300,321,000	113,502,095	37.79